



## ごあいさつ

京浜急行電鉄株式会社  
取締役社長

川俣 幸宏



日頃から、京急グループをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社は、2040年度に目指す将来像の実現に向け、さまざまな取り組みを推進しておりますが、そのすべての土台は「安全」と考えております。鉄道事業は公共性の高い社会基盤であり、ひとたび事故や輸送障害が発生すれば、多くのお客さまの生活や社会活動に大きな影響を及ぼします。その責任の重さを常に自覚し、安全の確保を経営の最重要課題として位置づけ、日々の業務にあたっております。

鉄道事業においては、鉄道安全管理規程に定めた安全管理体制のもと、安全最優先の意識を全社員に徹底するとともに、法令や規程等を順守し、厳正・誠実に職務を遂行することにより、安全・安定輸送の確保に努めてまいりました。また、PDCAサイクルのスパイラルアップを意識して継続的な点検と改善を重ねるとともに、取り組みの実効性を検証しながら、より高い安全水準の確保を図っております。

2025年度は、品川駅付近連続立体交差事業の推進、ホームドア整備の拡充、新造車両の導入、駅舎耐震補強工事、激甚化する自然災害への対策、踏切道安全対策の強化などを実施し、ハード面の充実を図りました。あわせて、異常時を想定した訓練や安全教育の充実を通じ、社員一人ひとりの知識・技能の向上を図るなど、ソフト面からの取り組みも強化しております。

今年度においても、安全対策の強化と品川駅付近連続立体交差事業の推進、ホームドアの整備や新造車両の導入など、総額449億円の設備投資を実施します。また、ハード・ソフト両面にわたるさまざまな取り組みを推進し、安全・安定輸送の確保をさらに強化するとともに、将来にわたり持続可能な鉄道事業の構築に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、当社の安全確保に関するさまざまな取り組み状況等を皆さまにご報告するものです。ぜひ、ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。